



各位

平成 26 年 5 月 14 日

株 式 会 社 U B I C
代表取締役社長 守本 正宏
(コード番号:2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル:UBIC)
問合せ先: 執行役員 管理本部長
谷口 正巳
T E L 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

平成 26 年 3 月期通期予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 13 日公表いたしました平成 26 年度 3 月期業績予想の修正数値と本日公表の実績値に差異が生じましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と実績の差異

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 11 月 13 日発表)	4,400 ~4,800	△255 ~100	△360 ~0	△275 ~△50	△8 円 16 銭 △1 円 48 銭
実績値 (B)	4,171	△598	△629	△604	△17 円 74 銭
増減額 (B-A)	△229 ~△629	△343 ~△698	△269 ~△629	△329 ~△554	—
増減率 (%)	△5.2 ~△13.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	4,679	920	872	500	15 円 84 銭

注) 当社は平成 26 年 4 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき普通株式 10 株の割合で株式分割を行っております。

平成 26 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益を算定

しております。

2. 差異の理由

当連結会計年度の売上高は、メディアを通じてのブランディングの向上や技術的な検証が下期で大きく進んだこともあり、ディスカバリの新規案件数が増加しましたが、業績予想に織り込んでいた案件の規模縮小と先送りにより、予想を下回りました。営業損益につきましては、コストダウンを徹底して進めましたが、売上高の減少を補うことができず予想を下回る結果となりました。

以上